

平成 28 年度 高教研数学部総会

平成 28 年 6 月 8 日 (水) 緑岡高等学校

< 日 程 >

受付 9:20~

公開授業 9:45~10:40

- ・普通科 1 年 3 組 数学Ⅰ「2 次関数」 堀江 信人 教諭
- ・普通科 2 年 4 組 数学Ⅱ「微分と積分」 柴原 俊男 教諭
- ・普通科 3 年 7 組 数学Ⅲ「微分法の応用」 渡邊 洋美 教諭

総 会 10:50~11:40

- 1 開会のことば
- 2 部長あいさつ
- 3 指導主事挨拶
- 4 会場校校長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 平成 27 年度事業報告並びに決算報告・監査報告について
 - (2) 平成 28 年度役員改選について
 - (3) 感謝状贈呈
 - (4) 平成 28 年度事業計画 (案) 並びに予算 (案) について
 - (5) 研究協議
 - ・数学部事業について
 - ・その他
- 6 閉会のことば

講演会 11:50~12:50

- 講 師 根本 博 先生 (茨城大学特任教授)
- 演 題 「高等学校におけるこれからの数学教育
~ '創' を内包する知を育てる ~」

謝 辞

諸 連 絡

平成28年度 高教研 数学部 役員 (案)

部 長	額 賀 俊 光 (佐和高校長)	
副部長	菊 地 利 幸 (水戸桜ノ牧高校長)	
	大 和 田 俊 一 (海洋高校長)	
監 事	木 村 哲 也 (那 珂)	細 谷 一 徳 (水戸三)
理 事	渡 邊 英 信 (水戸桜ノ牧)	高 根 昌 茂 (太田一)
会 計	綿 引 美代子 (水戸桜ノ牧)	
幹 事	加 藤 洋 子 (水戸桜ノ牧)	木 城 恭 子 (水戸桜ノ牧)
	塩 田 孝 治 (水戸桜ノ牧)	照 沼 央 (水戸桜ノ牧)
	渡 辺 基 志 (水戸桜ノ牧)	會 澤 優 美 (水戸桜ノ牧)
	秋 山 久 行 (水戸桜ノ牧)	

平成27年度 高教研 数学部 役員

部 長	堂 英 夫 (那珂高校長)	
副部長	額 賀 俊 光 (佐和高校長)	菊 地 利 幸 (潮来高校長)
監 事	木 村 哲 也 (那 珂)	細 谷 一 徳 (水戸三)
理 事	渡 邊 英 信 (水戸桜ノ牧)	高 根 昌 茂 (太田一)
会 計	綿 引 美代子 (水戸桜ノ牧)	
幹 事	友 部 進 (水戸桜ノ牧)	加 藤 洋 子 (水戸桜ノ牧)
	木 城 恭 子 (水戸桜ノ牧)	手 塚 俊 (水戸桜ノ牧)
	照 沼 央 (水戸桜ノ牧)	渡 辺 基 志 (水戸桜ノ牧)
	秋 山 久 行 (水戸桜ノ牧)	

*** 平成 28 年度 高教研数学部 評議員 (案)**

県北地区	△○柳 橋 聡 (高 萩)	山 縣 弘 幹 (高萩清松)
水戸地区	△○菅 野 学 (茨城東)	川 村 学 (水戸一)
	酒 井 哲 (友 部)	
県東地区	△○江 口 和 也 (玉造工)	亀 田 拓 (鹿 島)
県南地区	△○穴 戸 哲 也 (取手一)	坂 本 伸 吾 (江戸崎総合)
	鳥 海 匡 人 (牛 久)	
県西地区	△○勝 田 健 示 (竹 園)	△○江 田 慶 彦 (古河三)
	藤 田 貴 久 (下妻二)	風 見 和 広 (岩 井)
私 立	△○関 野 昇 (霞ヶ浦)	

○印のついている評議員は、高教研数学部からの高教研（本部）代議員です。

（平成28年度は、県西地区から1名を加えた7名です。）

△印のついている評議員は、平成27・28年度の評議員で29年度改選です。

*** 平成 27 年度 高教研数学部 評議員**

県北地区	△○國 谷 英 貴 (佐 竹)	志 賀 達 哉 (高 萩)
水戸地区	△○川 上 博 行 (東 海)	△渡 邊 康 男 (水戸南)
	永 井 哲 也 (茨城東)	
県東地区	△○中久木 俊 介 (波 崎)	江 口 和 也 (玉造工)
県南地区	△○北 澤 秀 (土浦湖北)	△○青 田 和 浩 (牛久栄進)
	穴 戸 哲 也 (取手一)	
県西地区	△○涌 井 太 郎 (下妻一)	△袖 山 明 宏 (下館工)
	勝 田 健 示 (竹 園)	江 田 慶 彦 (古河三)
私 立	△○木 上 由 季 (岩瀬日大)	(つくば国際東風)

○印のついている評議員は、高教研数学部からの高教研（本部）代議員です。

（平成27年度は、県南地区から1名を加えた7名です。）

△印のついている評議員は、平成26・27年度の評議員で28年度改選です。

*** 平成28年度 ホームページ運営委員 (案) [旧学力調査委員]**

県北地区	加 藤 守 康 (日 立 北)
水戸地区	△ 都 倉 健 史 (水 戸 三 高)
県東地区	山 田 龍 也 (波 崎 柳 川 高)
県南地区	△ 海 崎 昌 洋 (土 浦 二 高)
県西地区	岩 沢 理 砂 (石 下 紫 峰)
私 立	△ 戸 塚 賀 久 (水 戸 啓 明 高)

△印のついている委員は、平成27・28年度の委員で29年度改選です。

委員 長 (高)

副委員 長 (高)

*** 平成27年度 学力調査委員**

県北地区	△ 佐 藤 孝 明 (日 立 商 業)
水戸地区	都 倉 健 史 (水 戸 三 高)
県東地区	△ 関 野 英 明 (麻 生 高)
県南地区	海 崎 昌 洋 (土 浦 二 高)
県西地区	△ 上 形 勤 (真 壁 高)
私 立	戸 塚 賀 久 (水 戸 啓 明 高)

△印のついている委員は、平成26・27年度の委員で28年度改選です。

委員 長 関 野 英 明 (麻 生 高)

副委員 長 (高)

事 務 局 高 根 昌 茂 (太 田 一 高)

〃 堀 江 信 人 (太 田 一 高)

* 平成28年度 入試研究委員会・教科指導委員会 (案)

※新しい委員については、第1回評議員会の中で決定

	入試研究委員会	教科指導委員会
	△ 宍戸 哲也 (取手一)	△ 江口 和也 (玉造工)
	△ 江田 慶彦 (古河三)	△ 勝田 健示 (竹 園)
	鳥海 匡人 (牛 久)	△ 柳橋 聡 (高 萩)
	関野 昇 (霞ヶ浦)	菅野 学 (茨城東)
	山縣 弘幹 (高萩清松)	酒井 哲 (友 部)
	藤田 貴久 (下妻二)	風見 和広 (岩 井)
	川村 学 (水戸一)	亀田 拓 (鹿 島)
	坂本 伸吾 (江戸崎総合)	

△印のついている委員は、平成27・28年度の委員で29年度改選です。

* 平成27年度 入試研究委員会・教科指導委員会〔新設〕

※評議員はどちらかの委員会に所属

	入試研究委員会	教科指導委員会
委 員 長	△ 渡邊 康男 (水戸南)	△ 國谷 英貴 (佐 竹)
副 委 員 長	志賀 達哉 (高 萩)	江口 和也 (玉造工)
	△ 川上 博行 (東 海)	永井 哲也 (茨城東)
	△ 中久木俊介 (波 崎)	△ 北澤 秀 (土浦湖北)
	△ 青田 和浩 (牛久栄進)	勝田 健示 (竹 園)
	宍戸 哲也 (取手一)	△ 木上 由季 (岩瀬日大)
	△ 涌井 太郎 (下妻一)	
	△ 袖山 明宏 (下館工)	
	江田 慶彦 (古河三)	

△印のついている委員は、平成26・27年度の委員で28年度改選です。

平成 27 年度 事 業 報 告

- 4月上旬 数学学力調査（新入生対象）
- 4月23日（木） 平成26年度分会計監査（於：水戸桜ノ牧高）
- 5月22日（金） 第1回評議員会（於：水戸桜ノ牧高）・・・13:30～
同日 ※茨数研第1回評議員会（於：教育プラザ）・・・15:30～
- 5月24日（日） △第64回大学入試懇談会（於：学習院大学）
- 6月11日（木） 高教研数学部総会（於：水戸桜ノ牧高校）
・公開授業：3クラス
・総会
・講演会「数学的な考え方の指導について」講師笠原 勇先生（元 茨城大教授）
- 6月19日（金） ※茨数研総会および前期研究大会（大宮西小・大宮中・常陸大宮高）
<高校の部> 授業公開：3クラス
研究発表：上杉 勤 教諭（真壁高）※学力調査分析
<全体会講演会> 「全国学力・学習状況調査の問題に込めたメッセージと授業改善」
新井 仁 先生（文部科学省 中学数学 学力調査官）
- 7月28日（月） △第97回全国算数・数学教育研究（札幌）大会
～8月2日（土） 日本数学教育学会第97回総会
- 8月3日（月） 高教研数学部研修会①（於：那珂高校）
「数学Ⅰ データの分析の指導法・入試分析」
小口 祐一 先生（茨城大学教育部教授）
- 8月11日（火） 高教研数学部研修会②（於：水戸桜ノ牧高校）
「スタディエイド ディービー」講習会
小松直樹（数研出版 ICT事業部）
- 9月1日（火） 高教研数学部ホームページ開設
(URL: <http://www.math.koukyouken.ibk.ed.jp/>)
- 9月8日（火） 第2回評議員会（於：水戸桜ノ牧高）・・・13:30～
同日 ※茨数研第2回評議員会（於：教育プラザ）・・・15:30～
- 11月13日（金） △第70回 関東都県算数・数学教育研究（栃木）大会（於：宇都宮市）
研究発表：比嘉 忠史 教諭（日立一高）、渡辺 基志 教諭（水戸桜ノ牧高）
佐藤 貴弘 教諭（牛久高）
- 11月17日（火） ※茨数研総会および後期研究大会（太田西小・太田中・太田第一高）
<高校の部> 授業公開：3クラス
研究発表：奥山 洋士 教諭（土浦二高）
<全体会講演会> 「よい授業を求めて」小関 凖純 先生（元 群馬大教授）
- 11月18日（水） 水戸地区主任会議（水戸南高）
- 11月20日（金） 県北地区主任会議（佐竹高）
- 11月20日（金） 県南地区主任会議（取手一高）
- 11月26日（木） 県西地区主任会議（下妻一高）
- 11月27日（金） 県東地区主任会議（波崎高）
- 1月8日（金） 数学部部誌「数学教育第48号」原稿締切
- 1月27日（水） 第3回評議員会（於：研修センター）（主任会議報告 等）
- 3月中旬 数学部部誌「数学教育第48号」発刊

※…茨数研関係

△…日数教関

平成27年度一般会計決算報告

収入決算額	1,134,336 円
支出決算額	928,874 円
差引金額	205,462 円

収入の部

費目	平成27年度予算	平成27年度決算	増減	備考
前年度繰越金	232,575	232,575	0	
高教研事業費配分金	850,000	851,700	1,700	本部より
茨数研研究補助費	50,000	50,000	0	
雑収入	50	61	11	利息
合 計	1,132,625	1,134,336	1,711	

支出の部

費目	平成27年度予算	平成27年度決算	増減	備考
研究大会費	200,000	105,934	▲ 94,066	総会
会議費	100,000	70,523	▲ 29,477	評議員会・主任会議
事務局費	100,000	102,385	2,385	研修会費を含む
部誌印刷費	500,000	643,032	143,032	A4判 700部
茨数研負担金	7,000	7,000	0	
特別会計への繰入金	200,000	0	▲ 200,000	
予備費	25,625	0	▲ 25,625	
合 計	1,132,625	928,874	▲ 203,751	

☆平成28年度への繰越金 205,462 円

平成27年度一般会計の収支決算について、平成28年 4月25日に諸帳簿を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成28年 6月 8日

茨城県高等学校教育研究会数学部

監事 木 村 哲 也 印

細 谷 一 徳 印

平成27年度特別会計決算報告

収入決算額 2,119,189 円
 支出決算額 612,158 円
 差引金額 1,507,031 円

収入の部

費目	平成27年度予算	平成27年度決算	増減	備考
前年度繰越金	1,854,955	1,854,955	0	
学力調査費	450,000	263,925	▲ 186,075	
一般会計からの繰入金	200,000	0	▲ 200,000	
雑収入	500	309	▲ 191	利息等
合計	2,505,455	2,119,189	▲ 386,266	

支出の部

費目	平成27年度予算	平成27年度決算	増減	備考
学力調査費	450,000	450,378	378	学力調査関係
研究大会費	100,000	61,780	▲ 38,220	関プロ関係(一般会計に領収書)
会議費	100,000	0	▲ 100,000	
通信連絡費	100,000	0	▲ 100,000	
関プロ準備積立金	200,000	100,000	▲ 100,000	定期積立(一般会計から20万を超えた分)
予備費	1,555,455	0	▲ 1,555,455	
合計	2,505,455	612,158	▲ 1,893,297	

☆平成28年度への繰越金 1,507,031 円

○関プロ準備積立金 2,075,473 円

平成27年度特別会計の収支決算について、平成28年 4月 25日に諸帳簿を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成28年6月8日

茨城県高等学校教育研究会数学部

監事 木村 哲也 印

細谷 一徳 印

平成 28 年度 事 業 計 画 (案)

- 4月25日(月) 平成27年度分会計監査(於:水戸桜ノ牧高)
- 5月27日(金) 第1回評議員会(於:水戸桜ノ牧高)・・・13:30～
同日 ※茨数研第1回評議員会(於:教育プラザ)・・・15:30～
- 5月29日(日) △第65回大学入試懇談会(於:学習院大学)
- 6月8日(水) 高教研数学部総会(於:緑岡高校)
・公開授業(3クラス) ・総会 ・講演会(茨数研会長 根本 博 先生)
- 6月15日(水) 茨数研総会および前期研究大会(於:水戸地区)
小学校
中学校
水戸第一高等学校
(研究発表) 寒河江 雄一郎(下館一)
- 8月1日(月) △第98回全国算数・数学教育研究(岐阜)大会
～8月5日(金) 日本数学教育学会第98回総会
- 8月10日(水) △第71回 関東都県算数・数学教育研究(静岡)大会(於 静岡市)
研究発表:佐藤 貴弘 教諭(牛久高), 佐々木豪 教諭(水戸一高)
渡辺 洋美 教諭(緑岡高)
- 8月8日(月) 高教研数学部研修会(於:未定)
講師:岩手県立花巻北高等学校 下町壽男(しもまち としお) 先生
- 9月上旬 第2回評議員会(於:水戸桜ノ牧高)・・・13:30～
同日 ※茨数研第2回評議員会(於:教育プラザ)・・・15:30～
- 11月9日(水) 茨数研総会および後期研究大会(於:県南地区)
小学校
中学校
土浦湖北
(分科会発表) 小林 徹也(竜ヶ崎一)・日吉 貴之(水戸二)
- 11月～12月 各地区主任会議
- 1月上旬 数学部部誌「数学教育第49号」原稿締切
- 1月中旬 第3回評議員会(於:研修センター)(主任会議報告 等)
- 3月中旬 数学部部誌「数学教育第49号」発刊

※…茨数研関係

△…日数教関係

平成28年度一般会計予算（案）

（１）収入の部

費 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増 減	備 考
前年度繰越金	205,462	232,575	▲ 27,113	
高教研事業費配分金	800,000	850,000	▲ 50,000	本部より
茨数研研究補助費	50,000	50,000	0	
雑収入	50	50	0	利息
合 計	1,055,512	1,132,625	▲ 77,113	

（２）支出の部

費 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増 減	備 考
研 究 大 会 費	200,000	200,000	0	総会
会 議 費	100,000	100,000	0	評議員会、主任会議等
事 務 局	50,000	100,000	△ 50,000	送料、切手、消耗品など
研 修 会 費	100,000	0	100,000	今年度より新研修会実施のため
部 誌 印 刷 費	350,000	500,000	▲ 150,000	A4判 白黒
茨数研負担金	7,000	7,000	0	
特別会計への繰入金	200,000	200,000	0	関プロ準備金に積立
予 備 費	48,512	25,625	22,887	次年度準備金
合 計	1,055,512	1,132,625	▲ 77,113	

平成28年度特別会計予算（案）

（１）収入の部

費 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増 減	備 考
前年度繰越金	1,507,031	1,854,955	▲ 347,924	
学 力 調 査 費	0	450,000	▲ 450,000	今年度より廃止
一般会計からの繰入金	200,000	200,000	0	
雑収入	500	500	0	利息
合 計	1,707,531	2,505,455	▲ 797,924	

（２）支出の部

費 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増 減	備 考
学 力 調 査 費	0	450,000	▲ 450,000	今年度より廃止
研 究 大 会 費	100,000	100,000	0	関プロ関係
会 議 費	100,000	100,000	0	関プロ関係
通 信 連 絡 費	100,000	100,000	0	関プロ関係
関プロ準備積立金	200,000	200,000	0	
予 備 費	1,207,531	1,555,455	▲ 347,924	次年度準備金
合 計	1,707,531	2,505,455	▲ 797,924	

※定期積立金

2,075,473 円 （水戸桜ノ牧高校）

平成 8 年度以降の高教研・茨数研等会場校当番表（案）

事務局	高教研		年度	茨数研	
	春	秋		春 (高校が先に決定)	秋 (小中が先に決定)
水戸桜/牧	水城	土浦湖北	8	水戸桜/牧	水海道一
	水戸商	茎崎	9	勝田	太田一
	緑岡	日立工	10	水戸工	潮来
緑岡	水戸一	鉾田一	11	那珂湊一	牛久
	水戸商	竜ヶ崎南	12	水戸三	下妻一
	水戸二	古河二	13	茨城東	日立北
水戸工	水戸桜/牧		14	那珂	竜ヶ崎一
	常磐大学		15	—	(水戸二)
	水戸工		16	佐和	境
水戸二	水戸一		17	緑岡	水戸二
	水戸三		18	東海	高萩
	水戸商		19	水戸桜/牧	鹿島
水戸一	大成女子		20	笠間	竹園
	水戸工		21	水戸一	総和
	水戸二		22	那珂湊	磯原郷英
水戸三	水戸三		23	緑岡(中止)	麻生
	水戸商		24	緑岡	守谷
竹園	水戸女子		25	大洗	下館一
	水戸工		26	—	(水戸二)
水戸桜/牧	水戸桜/牧		27	常陸大宮	太田一
	緑岡		28	水戸一	県南地区
牛久栄進	水戸三		29	勝田工	県西地区
	水戸商		30	水戸桜/牧	県北地区
緑岡	水戸啓明		31	友部	
	水戸一		32	水戸工	
土浦二	水戸二		33	水戸農	
	緑岡		34	水戸三	
水戸工	水戸商		35	勝田	

＜参考＞ 第2学区当番会場校申し合わせ事項（平成13年11月30日付）

- ①高教研春季、茨数研春季の隔年をMグループのM1から順に担当する。
- ②茨数研春季の隔年をA1→B1→C1→A2→B2→C2→A3→……C4→B5→C5の順に担当する。
- ③茨数研秋季で会場校になった場合は、そのグループが一巡するまで会場校にはしない。
- ④数学担当の教諭が3名未満になった時は会場校にしない。

番号	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Mグループ
1	那珂（5）	佐和（6）	笠間（3）	水戸二（9）
2	東海（4）	那珂湊（4）	大洗（4）	緑岡（8）
3	常陸大宮（4）	勝田工（4）	友部（4）	水戸三（8）
4	水戸農（6）	勝田（5）	茨城東（5）	水戸商（9）
5				水戸桜ノ牧（9）
6				私立
7				水戸工（7）
8				水戸一（11）

小中学校では、水戸周辺に入らない学校
 大子清流（6） 小瀬（5）

教諭数3人未満のため除外した学校
 海洋（2）

水戸市内の私立校
 大成女子（5） 常磐大（9） 茨城（17） 水戸女子（3）
 水戸啓明（12） 水城（22） 水戸葵陵（7）

※茨数研・高教研数学部の会場校についての申し合わせ事項

- ①茨数研 春季大会…水戸市内および水戸周辺で高校が先に決定する。
 秋季大会…小中が先に決定し、その周辺の高校を後から決める。
- ②高教研 春季大会…水戸市内の高校で実施する。
 秋季大会…水戸市以外で実施する。（14年度から茨数研に吸収）

＜茨数研・高教研数学部の会場校についての申し合わせ事項＞

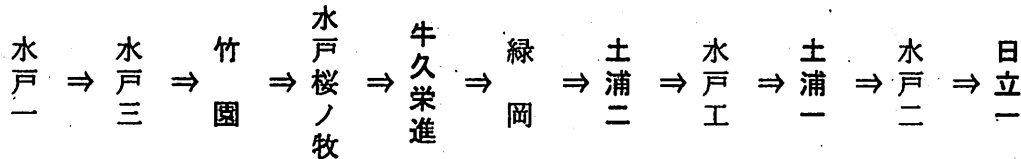
茨数研	春季大会	水戸市内及び水戸周辺で高校が先に決定する
	秋季大会	小中が先に決定し、その周辺の高校を後から決める
高教研数学部	春季大会	水戸市内の高校で実施する

茨城県高等学校教育研究会数学部申し合わせ事項

1 事務局関係

(1) 輪番制について

事務局は以下の高校が担当し、2カ年の期間で下記の輪番制とする。



※事務局を終えた高校は、その後4年間監事を担当する。

(2) 事務局経費

事務局のある高校の数学科に30,000円(年間)

(3) 総会、大会時の昼食代

総会・大会時の会場校の数学科、事務局関係者へ当日の昼食代を支出
(実際には人数分の弁当の手配・支給・配送)

(4) 会場設営費(総会、大会)

会場校(数学科)へ10,000円

(5) 各種大会(主に県外)への参加費・出張旅費の支給

司会者・助言者・発表者の大会参加費は事務局が負担する

司会者・助言者・発表者の出張旅費は状況に応じて事務局が負担することができる

(6) 講師謝礼

50,000円～100,000円(含む旅費)

~~(更に、部誌掲載用の原稿料として5,000円)~~

(7) 研究発表者、論文投稿者への研究補助

研究発表者5,000円相当の図書カード

論文投稿者3,000円相当の図書カード

~~(ただし、学力調査結果報告者は論文投稿者扱い)~~

(8) 評議員会・会計監査・各学区主任会議について

会議費として実費(一人300円程度)を補助する

<文書…事務局で発送 領収書(会議費)…事務局で作成>

(9) 退職者への旅費(役員として出席の時)

7,000円

(10) 講演(茨数研主催の講演は除く)の記録

(テープ録音、時には部誌掲載用にまとめる)

会場校の属する学区の評議員で決定する

(11) 茨数研後期研究大会分科会(研究発表等)の記録

(簡単にまとめ、事務局の茨大へ報告)

分科会会場校の数学科

(12) 感謝状の贈呈について

退任する以下の役員等を対象とする

部長(1)、副部長(2)、監事(2)、理事(2)、会計(1)

その他本部会に功労のあった者

(13) 小委員会(研究グループ)への援助

小委員会(研究グループ)の活動に応じて、第3回の評議員会で援助額を決める。

2 ~~学力調査委員会事務局関係~~

~~(1) 事務局経費~~

~~学力調査委員会事務局のある高校の数学科へ30,000円(年間)~~

~~(2) 委員会時経費~~

~~学力調査委員へ2,000円相当の図書カード(委員会毎)~~

3 本申し合せは、平成5年度より実施する

平成9年6月6日一部改正

平成9年11月12日一部改正

平成20年5月22日一部改正

平成22年6月22日一部改正

平成25年6月4日一部改正

・その他

＊平成28年度茨教研前期大会について

期 日：平成28年6月15日（水）

場 所：水戸第一高等学校

日 程：（１）受 付 8:00～8:20

（２）公開授業 8:25～9:25

・普通科 13組 「図形と計量」 佐々木 豪 先生

・普通科 15組 「図形と計量」 飯島 正和 先生

・普通科 28組 「微分法と積分法」 島田 道昭 先生

移動 ～11:10 （会場：茨城県開発公社ビル4-H会議室）

（３）全体会（11:10～12:30）

・総 会 11:10～11:30

・研究発表 11:30～12:30

○「児童の思考力・表現力の向上を目指す校内研修の推進」
～算数科におけるチーム体制を生かしたアクティブラー
ニング型研修を通して～

鈴木 麻紀（水戸市立三の丸小学校）

○「対数の意義理解を深める数学科学習指導の在り方」
～計算尺の仕組みを考察する活動を通して～

寒河江 雄一郎（県立下館第一高等学校）

○「関数関係を見いだし表現し考察する能力を育てる数学科
学習指導の在り方」

三浦 健一（稲敷郡阿見町立竹来中学校）

（４）講演会 13:30～15:00

「思考力を育てる算数・数学の授業 ～次世代を生きる子ども
のための学びを目指して～」

日野 圭子 先生（宇都宮大学教授）

※駐車場が確保できないため、公共の交通機関をご利用ください。

茨城県高等学校教育研究会数学部規約

第1条 本部会は茨城県高等学校教育研究会数学部と称する。

第2条 本部会の事務局は部長これを定める。

第3条 本部会は茨城県高等学校の数学教育について研究し、進歩改善を図ると共に会員の識見の向上に努めることを目的とする。

第4条 本部会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

- 1 高等学校数学教育に関する研究会の開催
- 2 講演会、講習会等の開催
- 3 高等学校教育に関係ある調査
- 4 関係各研究団体の連絡
- 5 その他本部会の目的を達成するために必要な事業

第5条 本部会は茨城県高等学校数学教育関係職員及び本部会の趣旨に賛同する者を会員とする。

第6条 本部会は次の役員をおく。

部長 1名 副部長 2名 評議員 16名 監事 2名
理事 2名 会計 1名 幹事 若干名
部長、副部長は評議員会の推薦により総会において選出する。
評議員の構成は県北地区2名、水戸地区3名、県東地区2名、県南地区3名、
県西地区4名、私立高校2名とし、それぞれ当該地区、高校所属の会員から選出
する。
理事、会計、幹事は部長が委嘱し、監事は評議員会において選出する。

第7条 部長は本部会を代表、会務を統括する。

副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
部長、副部長、評議員、理事は評議員会を組織し本部会の重要事項を審議する。
理事、会計、幹事は部長の命により事務を処理する。
監事は会計を監査する。

第8条 役員の任期は2年とする。ただし、重任することができる。

第9条 本部会に評議員会の議決により顧問をおくことができる。

第10条 本部会は毎年1回総会を開く。総会においては次の事を行う。

- 1 会務及び会計の報告
- 2 会則変更の議決
- 3 その他重要事項の議決

第11条 本部会の経費は会員の会費による。

第12条 本部会の会計は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13条 本規約は昭和48年4月1日より実施する。

茨城県高等学校教育研究会各学区順番表

事務局		評 議 員														ホームページ運営委員(学力調査委員)						会 場 校			
年度	事務局	学力調査 事務局	県 北	水 戸		県 東	県 南			県 西				私 立	県北	水戸	県東	県南	県西	私立	高 教 研		茨 教 研		
				(市内)	(市 外)		第1地区	第2地区	第3地区	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック								(春)	(秋)	(春)	(秋)	
元	水 戸	二 下 館 二			緑 岡 佐 和											笠 岡					水 戸 二	日 立 北	大 宮 石 岡 商		
2	水 戸	一 下 館 二			水 戸 農 佐 和											笠 岡					水 戸 三	小 川 緑 岡 下 館 二			
3	水 戸	一 下 館 二			水 戸 農 湊 水 産											大 宮					桜 ノ 牧	茨 城 東 郡 珂 湊 二 磯 原			
4	水 戸	一 土 浦 三			水 戸 工 湊 水 産											大 宮					私立茨高	結 城 一 水 戸 農 波 崎 柳 川			
5	水 戸	三 土 浦 三			水 戸 工 笠 岡 大 子 二				石 岡 商 竜 ケ 崎 一							大 宮 工		土 浦 湖 北			水 戸 工	太 田 二 友 部 藤 代			
6	水 戸	三 日 立 北			水 戸 商 笠 岡 大 子 二			土 浦 一 石 岡 商 竜 ケ 崎 一								大 宮 工		土 浦 湖 北			水 戸 一	麻 生 勝 田 工 伊 奈			
7	水 戸	三 日 立 北			水 戸 商 大 宮 大 宮 工			土 浦 一 小 川 竜 ケ 崎 二								常 北		石 岡 一			水 戸 三 (水 戸 二)	―― (水 戸 二)			
8	桜 ノ 牧	勝 田			水 戸 南 大 宮 大 宮 工 神 栖 鉢 田 一	土 浦 二 小 川 竜 ケ 崎 二										常 北 鹿 島 石 岡 一				私立水城	土 浦 湖 北 桜 ノ 牧 水 海 道 一				
9	桜 ノ 牧	勝 田 磯 原			水 戸 南 常 北 大 洗 鉢 田 一 麻 生 土 浦 二 中 央 竜 ケ 崎 南 筑 波			古 河 三					つくば国際		大 洗 鹿 島 竜 ケ 崎 一		つくば国際		水 戸 商 基 崎 勝 田 太 田 一						
10	桜 ノ 牧	鉢 田 一 磯 原 北 茨 城	水 戸 一 常 北 大 洗 麻 生 湖 来 土 浦 三 中 央 竜 ケ 崎 南 筑 波 下 妻 一 古 河 三 境 西 常 総 学 院 東 洋 牛 久 佐 竹 東 海 神 栖 江 戸 崎 並 木 常 総 学 院 緑 岡 日 立 工 水 戸 工 潮 来																						
11	緑 岡	鉢 田 一 太 田 一 北 茨 城	水 戸 一 東 海 茨 城 東 潮 来 鉢 田 二 土 浦 三 八 郷 取 手 一 竹 園 下 妻 一 総 和 工 境 西 常 総 学 院 東 洋 牛 久 里 美 東 海 波 崎 江 戸 崎 基 崎 常 総 学 院 水 戸 一 鉢 田 一 那 珂 湊 一 牛 久																						
12	緑 岡	石 岡 一 太 田 一 太 田 二 桜 ノ 牧	東 海 茨 城 東 鉢 田 二 鉢 田 農 土 浦 工 八 郷 取 手 一 竹 園 下 妻 二 総 和 工 岩 井 常 総 学 院 東 洋 牛 久 里 美 東 海 波 崎 江 戸 崎 基 崎 常 総 学 院 水 戸 商 竜 ケ 崎 南 水 戸 三 下 妻 一																						
13	緑 岡	石 岡 一 佐 竹 太 田 二 桜 ノ 牧	友 部 那 珂 鉢 田 農 鹿 島 灘 土 浦 工 牛 久 取 手 二 並 木 下 妻 二 総 和 岩 井 常 総 学 院 茨 キ リ 里 美 茨 城 東 波 崎 石 岡 二 基 崎 東 洋 牛 久 水 戸 二 古 河 二 茨 城 東 日 立 北																						
14	水 戸 工	下 妻 一 佐 竹 里 美 水 戸 二 友 部 那 珂 鹿 島 灘 波 崎 柳 川 土 浦 湖 北 牛 久 取 手 二 並 木 真 壁 総 和 岩 井 西 明 秀 日 立 茨 キ リ 高 萩 茨 城 東 潮 来 石 岡 二 岩 瀬 東 洋 牛 久 桜 ノ 牧 那 珂 竜 ケ 崎 一																							
15	水 戸 工	下 妻 一 高 萩 里 美 水 戸 二 大 子 一 大 子 二 波 崎 柳 川 波 崎 土 浦 湖 北 牛 久 栄 造 取 手 松 陽 上 郷 真 壁 明 野 岩 井 西 明 秀 日 立 茨 城 高 萩 友 部 潮 来 竜 ケ 崎 二 岩 瀬 茨 キ リ 私立常磐 (水 戸 二) ――― (水 戸 二)																							
16	水 戸 工	多 賀 高 萩 松 丘 水 戸 三 大 子 清 流 小 瀬 波 崎 玉 造 工 江 戸 崎 牛 久 栄 造 取 手 松 陽 上 郷 結 城 一 明 野 猿 島 大 成 女 子 茨 城 松 丘 友 部 玉 造 工 竜 ケ 崎 二 下 館 一 茨 キ リ 水 戸 工 佐 和 境																							
17	水 戸 二	多 賀 日 立 一 松 丘 水 戸 三 山 方 商 小 瀬 玉 造 工 鹿 島 江 戸 崎 石 岡 一 藤 代 つくば工科 結 城 一 八 千 代 猿 島 大 成 女 子 常 磐 大 松 丘 那 珂 玉 造 工 石 岡 商 下 館 一 明 秀 日 立 水 戸 一 緑 岡 水 戸 二																							
18	水 戸 二	水 戸 農 日 立 一 日 立 二 緑 岡 山 方 商 勝 田 鹿 島 神 栖 土 浦 一 石 岡 一 藤 代 つくば工科 結 城 二 八 千 代 守 谷 水 戸 女 子 常 磐 大 日 立 一 那 珂 鹿 島 灘 石 岡 商 下 館 二 明 秀 日 立 水 戸 三 東 海 高 萩																							
19	水 戸 二	水 戸 農 日 立 工 日 立 二 緑 岡 勝 田 工 勝 田 神 栖 鉢 田 一 土 浦 一 石 岡 二 藤 代 紫 水 基 崎 結 城 二 水 海 道 一 守 谷 水 戸 女 子 水 戸 短 附 日 立 一 大 子 清 流 鹿 島 灘 竜 ケ 崎 南 下 館 二 茨 城 水 戸 商 桜 ノ 牧 鹿 島																							
20	水 戸 一	鹿 島 日 立 工 多 賀 水 戸 農 勝 田 工 佐 和 鉢 田 一 麻 生 土 浦 二 石 岡 二 藤 代 紫 水 基 崎 鬼 怒 商 水 海 道 一 伊 奈 水 戸 葵 陵 水 戸 短 附 日 立 二 大 子 清 流 鉢 田 農 竜 ケ 崎 南 下 館 工 茨 城 大 成 女 子 笠 岡 竹 園																							
21	水 戸 一	鹿 島 日 立 商 多 賀 水 戸 農 那 珂 湊 一 佐 和 麻 生 湖 来 土 浦 二 石 岡 商 竜 ケ 崎 一 岩 瀬 鬼 怒 商 水 海 道 二 伊 奈 水 戸 葵 陵 水 城 日 立 二 小 瀬 鉢 田 農 土 浦 一 下 館 工 大 成 女 子 水 戸 工 水 戸 一 総 和																							
22	水 戸 一	取 手 一 日 立 商 日 立 北 水 戸 工 那 珂 湊 一 海 洋 潮 来 鉢 田 二 土 浦 三 石 岡 商 竜 ケ 崎 一 岩 瀬 石 下 紫 峰 水 海 道 二 三 和 清 真 学 園 水 城 日 立 工 小 瀬 鉢 田 一 土 浦 一 下 妻 一 大 成 女 子 水 戸 二 那 珂 湊 磯 原 郷 英																							
23	水 戸 三	取 手 一 磯 原 郷 英 日 立 北 水 戸 工 笠 岡 海 洋 鉢 田 二 鉢 田 農 土 浦 三 小 川 竜 ケ 崎 二 下 館 一 石 下 紫 峰 古 河 一 三 和 清 真 学 園 鹿 島 学 園 日 立 工 水 戸 一 鉢 田 一 中 央 下 妻 一 常 磐 大 水 戸 三 緑 岡 (中 止) 麻 生																							
24	水 戸 三	下 妻 二 磯 原 郷 英 太 田 一 水 戸 商 笠 岡 常 陸 大 宮 鉢 田 農 鹿 島 灘 波 崎 柳 川 土 浦 工 中 央 竜 ケ 崎 二 下 館 一 下 館 二 古 河 一 境 つくば国土 鹿 島 学 園 多 賀 水 戸 一 鉢 田 二 中 央 結 城 二 常 磐 大 水 戸 商 緑 岡 守 谷																							
25	竹 園	下 妻 二 太 田 二 太 田 一 水 戸 商 大 洗 常 陸 大 宮 鹿 島 灘 波 崎 柳 川 土 浦 工 中 央 竜 ケ 崎 南 筑 波 下 館 二 古 河 二 境 つくば国土 土 浦 日 大 多 賀 水 戸 二 鉢 田 二 取 手 一 結 城 二 水 戸 女 子 水 戸 女 子 大 洗 下 館 一																							
26	竹 園	太 田 一 太 田 二 佐 竹 水 戸 南 大 洗 東 海 波 崎 柳 川 波 崎 土 浦 湖 北 牛 久 栄 造 竜 ケ 崎 南 筑 波 下 妻 一 古 河 二 下 館 工 岩 瀬 日 大 土 浦 日 大 日 立 商 水 戸 二 麻 生 取 手 一 真 壁 水 戸 女 子 水 戸 工 ――― (水 戸 二)																							
27	桜 ノ 牧	太 田 一 高 萩 佐 竹 水 戸 南 茨 城 東 東 海 波 崎 玉 造 工 土 浦 湖 北 牛 久 栄 造 取 手 一 竹 園 下 妻 一 古 河 三 下 館 工 岩 瀬 日 大 つくば国東 日 立 商 水 戸 三 麻 生 土 浦 二 真 壁 水 戸 啓 明 桜 ノ 牧 常 陸 大 宮 太 田 一																							
28	桜 ノ 牧	笠 岡 高 萩 高 萩 清 松 水 戸 一 茨 城 東 友 部 玉 造 工 鹿 島 江 戸 崎 総 合 牛 久 取 手 一 竹 園 下 妻 二 古 河 三 岩 井 霞 ケ 浦 つくば国東 日 立 北 水 戸 三 波 崎 柳 川 土 浦 二 石 下 紫 峰 水 戸 啓 明 緑 岡 水 戸 一 県 南																							
29	牛 久 栄 造	笠 岡 日 立 一 高 萩 清 松 水 戸 一 那 珂 友 部 鹿 島 神 栖 江 戸 崎 総 合 牛 久 取 手 二 並 木 中 等 下 妻 二 総 和 工 岩 井 霞 ケ 浦 常 総 学 院 日 立 北 緑 岡 波 崎 柳 川 牛 久 石 下 紫 峰 水 戸 葵 陵 水 戸 三 勝 田 工 県 西																							
30	牛 久 栄 造	県 東 日 立 一 日 立 二 桜 ノ 牧 那 珂 大 子 清 流 神 栖 鉢 田 一 土 浦 二 石 岡 一 取 手 二 並 木 中 等 真 壁 総 和 工 坂 東 総 合 東 洋 牛 久 常 総 学 院 磯 原 郷 英 緑 岡 鹿 島 牛 久 下 妻 二 水 戸 葵 陵 水 戸 商 桜 ノ 牧 県 北																							
31	緑 岡	県 東 日 立 工 日 立 二 桜 ノ 牧 小 瀬 大 子 清 流 鉢 田 一 麻 生 土 浦 二 石 岡 一 取 手 松 陽 つくば工科 真 壁 古 河 中 等 坂 東 総 合 東 洋 牛 久 若 溪 学 園 磯 原 郷 英 水 戸 農 鹿 島 取 手 二 下 妻 二 水 城 水 戸 啓 明 友 部 県 南																							
32	緑 岡	土 浦 工 日 立 工 多 賀 水 戸 二 小 瀬 勝 田 麻 生 湖 来 土 浦 一 石 岡 二 取 手 松 陽 つくば工科 結 城 一 古 河 中 等 守 谷 つくば秀英 若 溪 学 園 太 田 一 水 戸 農 神 栖 取 手 二 水 海 道 一 水 城 水 戸 一 水 戸 工 県 西																							
33	土 浦 二	土 浦 工 日 立 商 多 賀 水 戸 二 勝 田 工 勝 田 潮 来 鉢 田 二 土 浦 一 石 岡 二 藤 代 基 崎 結 城 一 明 野 守 谷 つくば秀英 明 秀 日 立 太 田 一 水 戸 工 神 栖 土 浦 三 水 海 道 一 清 真 学 園 水 戸 二 水 戸 農 県 北																							
34	土 浦 二	県 西 日 立 商 日 立 北 水 戸 三 勝 田 工 佐 和 鉢 田 二 鉢 田 農 土 浦 三 石 岡 商 藤 代 基 崎 結 城 二 明 野 伊 奈 茨 キ リ 明 秀 日 立 太 田 二 水 戸 工 波 崎 土 浦 三 水 海 道 二 清 真 学 園																							
35	水 戸 工	県 西 磯 原 郷 英 日 立 北 水 戸 三 那 珂 湊 佐 和 鉢 田 農 鹿 島 灘 土 浦 三 石 岡 商 藤 代 紫 水 岩 瀬 結 城 二 八 千 代 伊 奈 茨 キ リ 茨 城 太 田 二 水 戸 商 波 崎 牛 久 栄 造 水 海 道 二 鹿 島 学 園																							
36	水 戸 工	日 立 一 磯 原 郷 英 太 田 一 緑 岡 那 珂 湊 海 洋 鹿 島 灘 波 崎 柳 川 土 浦 工 中 央 藤 代 紫 水 岩 瀬 鬼 怒 商 八 千 代 三 和 大 成 女 子 茨 城 佐 竹 水 戸 商 潮 来 牛 久 栄 造 古 河 一 鹿 島 学 園																							
37	土 浦 一	日 立 一 太 田 二 太 田 一 緑 岡 海 洋 波 崎 柳 川 波 崎 土 浦 工 中 央 竜 ケ 崎 一 下 館 一 鬼 怒 商 水 海 道 一 三 和 大 成 女 子 常 磐 大 佐 竹 水 戸 南 潮 来 取 手 松 陽 古 河 一 つくば国際大																							
38	土 浦 一	佐 和 太 田 二 佐 竹 水 戸 農			波 崎 玉 造 工 土 浦 湖 北 牛 久 竜 ケ 崎 一 下 館 一 石 下 紫 峰 水 海 道 一 境 水 戸 女 子 常 磐 大 高 萩 水 戸 南 鹿 島 灘 取 手 松 陽 古 河 二 つくば国際大																				
39	水 戸 二	佐 和 高 萩 佐 竹 水 戸 農			玉 造 工 鹿 島 土 浦 湖 北 牛 久 竜 ケ 崎 二																				
40	水 戸 二	県 東 高 萩 高 萩 清 松 水 戸 工			鹿 島 神 栖 江 戸 崎 総 合 牛 久 栄 造 竜 ケ 崎 二																				

※ 高教研春季研究大会(総会)は水戸地区で行う。秋季研究大会は平成14年度から行われなくなりました。※ 平成18年度以降は通学区が廃止されました。県北(旧1学区)、水戸(旧2学区)、県東(旧3学区)、県南(旧4学区)、県西(旧5学区)です。

※ 茨教研前期研究大会(総会)は水戸地区(旧2学区)【高校優先】、後期研究大会はその他の地区【小・中学校優先で、近隣の高校に依頼】で行う。

*H26大洗とH27常陸大宮は条件付きです。